



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社
コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ経営管理本部長 (氏名) 松本 真司
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0859-22-7477

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	47,036	33.0	11,734	71.1	11,798	64.4	7,899	67.7
2023年3月期第3四半期	35,370	54.3	6,856	696.8	7,176	223.7	4,711	218.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,926百万円 (66.6%) 2023年3月期第3四半期 4,758百万円 (218.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	50.77	—
2023年3月期第3四半期	30.28	—

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	42,746	32,265	75.5	207.37
2023年3月期	36,953	26,517	71.8	170.43

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 32,265百万円 2023年3月期 26,517百万円

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。2023年3月期については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。株式分割を考慮した2023年3月期の期末配当金は1株当たり14円00銭となることから、修正後の期末配当予想は、実質的に11円00銭の増配となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,461	20.5	14,192	42.6	14,263	38.5	9,560	36.2	61.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	155,607,600 株	2023年3月期	155,607,600 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	12,070 株	2023年3月期	11,750 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	155,595,698 株	2023年3月期3Q	155,596,340 株
------------	---------------	------------	---------------

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2023年8月1日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の変更又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や行動制限が解除されたことにより社会経済活動は一段と正常化に向かい、また、インバウンドが徐々に回復するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、働き手不足の深刻化、原材料価格・エネルギー価格の更なる高騰や物価上昇による消費マインドの悪化懸念など、依然として先行き不透明な状態が続きました。また、当第3四半期連結会計期間では、新型コロナウイルス感染症の行動制限の影響が一巡し、2022年10月から開始された「全国旅行支援」の反動も見られました。

こうした中、当社グループは、2023年経営スローガンを「超絶ト成長元年！」とし、経営理念の徹底実践をベースとした「全員参画による超現場主義」経営を推進し、人財力及び組織力の向上に注力いたしました。また、美味しさをより一層追求した「プレミアム・ギフトスイーツ」の創造と育成に邁進し、商品力・販売力・売場力の更なるレベルアップ、人財採用と共育、ブランド開発と売場獲得、インバウンド復活準備などの重点対策の推進に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,036百万円（前年同期比33.0%増）、営業利益は11,734百万円（前年同期比71.1%増）、経常利益は11,798百万円（前年同期比64.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,899百万円（前年同期比67.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① シュクレイ

シュクレイは、売場ディスプレイの改良、限定商品の発売や超試食販売による販売力の強化、大型催事出店の推進などにより、更なるブランド価値の向上に注力いたしました。また、インバウンド対策では、早期に人員体制を整え、主要国際線ターミナルでの展開強化などに取り組みました。新規出店では、2023年5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、同年6月にはJ R東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を、同年11月には阪神百貨店梅田本店に新ブランド「バニ」を出店するなど、計5店の出店を行いました。その結果、売上高は19,208百万円（前年同期比34.5%増）、営業利益は4,272百万円（前年同期比51.8%増）となりました。

② ケイシイシイ

ケイシイシイは、25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「Now on Cheese♪（ナウオンチーズ）」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。その結果、売上高は12,818百万円（前年同期比32.2%増）となり、営業利益は2,681百万円（前年同期比103.9%増）となりました。

③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。その結果、売上高は10,043百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益は2,295百万円（前年同期比63.0%増）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、交通拠点チャネルを重点に、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区は、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルや「京都ヴェネト」ブランドによる販売強化、福岡地区では「博多まっかな苺」ブランドの展開強化や新商品「博多万能ねぎ天ぷらえびせんべい」の拡販などに取り組みました。その結果、売上高は5,275百万円（前年同期比35.4%増）、営業利益は691百万円（前年同期比113.6%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、製造小売型経営への変革を図るため、当社グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革、製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。また、10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイポリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストブディング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組みました。新規出店では、2023年10月にJ R博多駅構内に新ブランド「アイム リリー」を出店、また、退店では2023年10月にアイポリッシュ福岡本店を閉店いたしました。その結果、売上高は4,839百万円（前年同期比34.5%増）、営業利益は678百万円（前年同期比147.3%増）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。売上高は469百万円（前年同期比8.9%減）となり、営業利益は26百万円（前年同期比57.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、42,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,793百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（2,379百万円）、商品及び製品の増加（949百万円）、現金及び預金の増加（865百万円）、有形固定資産の増加（664百万円）などによるものです。

負債は10,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。主な要因は、未払金の増加（551百万円）、支払手形及び買掛金の増加（525百万円）、未払法人税等の減少（388百万円）、賞与引当金の減少（356百万円）などによるものです。

純資産は32,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,747百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（7,899百万円）、配当金の支払いによる減少（2,178百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.7ポイント増加し75.5%となり、1株当たり純資産は207円37銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、前回公表数字（2023年11月1日付「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」）から変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,162,263	18,027,966
受取手形及び売掛金	6,074,313	8,453,378
商品及び製品	1,583,653	2,532,711
仕掛品	61,458	111,068
原材料及び貯蔵品	648,392	902,377
その他	210,983	800,958
貸倒引当金	△294	△541
流動資産合計	25,740,768	30,827,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,811,177	4,021,788
機械装置及び運搬具(純額)	1,738,068	1,902,294
工具、器具及び備品(純額)	292,314	353,773
土地	2,855,157	2,855,157
リース資産(純額)	10,539	7,900
建設仮勘定	43,147	274,232
有形固定資産合計	8,750,402	9,415,144
無形固定資産	100,803	89,183
投資その他の資産		
その他	2,366,943	2,420,485
貸倒引当金	△5,772	△5,772
投資その他の資産合計	2,361,171	2,414,713
固定資産合計	11,212,376	11,919,040
資産合計	36,953,144	42,746,957
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,562,871	2,088,062
1年内返済予定の長期借入金	140,150	17,190
未払金	1,177,247	1,728,756
未払法人税等	2,755,368	2,367,272
賞与引当金	932,111	575,571
その他	1,527,725	1,276,971
流動負債合計	8,095,472	8,053,822
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
退職給付に係る負債	1,849,604	1,940,010
その他	190,530	187,921
固定負債合計	2,340,134	2,427,931
負債合計	10,435,606	10,481,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	23,855,214	29,576,784
自己株式	△5,312	△6,050
株主資本合計	26,390,863	32,111,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,926	37,222
為替換算調整勘定	31,148	46,661
退職給付に係る調整累計額	80,601	69,626
その他の包括利益累計額合計	126,675	153,509
純資産合計	26,517,538	32,265,204
負債純資産合計	36,953,144	42,746,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	35,370,073	47,036,204
売上原価	14,228,254	17,907,035
売上総利益	21,141,819	29,129,169
販売費及び一般管理費	14,285,447	17,394,884
営業利益	6,856,372	11,734,285
営業外収益		
受取利息	116	185
受取配当金	5,915	5,677
受取地代家賃	38,803	39,771
その他	283,341	27,112
営業外収益合計	328,175	72,745
営業外費用		
支払利息	390	131
その他	7,493	8,102
営業外費用合計	7,883	8,233
経常利益	7,176,664	11,798,797
特別利益		
固定資産売却益	247	481
関係会社清算益	2,277	—
特別利益合計	2,524	481
特別損失		
固定資産除却損	6,214	4,227
投資有価証券売却損	400	—
特別損失合計	6,614	4,227
税金等調整前四半期純利益	7,172,574	11,795,051
法人税等	2,461,430	3,895,139
四半期純利益	4,711,144	7,899,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,711,144	7,899,912

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,711,144	7,899,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,685	22,296
為替換算調整勘定	35,257	15,513
退職給付に係る調整額	569	△10,975
その他の包括利益合計	47,511	26,834
四半期包括利益	4,758,655	7,926,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,758,655	7,926,746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(当座貸越契約)

当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当第3四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
当座貸越極度額の総額	7,800,000千円	3,250,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	7,800,000千円	3,250,000千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイ シイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	13,917,103	9,325,984	5,306,761	3,855,879	2,450,050	34,855,777
セグメント間の内部売上高又は振替高	364,561	367,443	2,362,551	41,045	875,750	4,011,350
計	14,281,664	9,693,427	7,669,312	3,896,924	3,325,800	38,867,127
セグメント利益	2,814,734	1,314,807	1,408,808	323,467	274,235	6,136,051

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	514,296	35,370,073	—	35,370,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	544	4,011,894	△4,011,894	—
計	514,840	39,381,967	△4,011,894	35,370,073
セグメント利益	62,916	6,198,967	657,405	6,856,372

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業、健康食品事業、並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額657,405千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,176,320千円、セグメント間取引消去額6,787千円、棚卸資産の調整額△81,361千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△444,341千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイ シイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	18,901,668	12,388,033	6,862,742	5,191,217	3,224,995	46,568,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	307,019	430,796	3,180,842	84,516	1,614,751	5,617,924
計	19,208,687	12,818,829	10,043,584	5,275,733	4,839,746	52,186,579
セグメント利益	4,272,717	2,681,357	2,295,854	691,027	678,159	10,619,114

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	467,549	47,036,204	—	47,036,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,604	5,619,528	△5,619,528	—
計	469,153	52,655,732	△5,619,528	47,036,204
セグメント利益	26,708	10,645,822	1,088,463	11,734,285

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業、健康食品事業、並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額1,088,463千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,555,005千円、セグメント間取引消去額31,703千円、棚卸資産の調整額△76,824千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△421,421千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。